

体操の全国大会

入賞目指し練習

田辺工業高の今岡君

田辺工業高校2年の今岡一斗君(17)が、24、25日に宮城県である第34回全国高校体操競技選抜大会に県代表として出場する。「県代表としていい結果を出したい」と練習に励んでいる。

今岡君は、昨年11月にあった県新人大会の男子個人総合「センバツ」のような位置付けで優勝し、県内の男子で1枠の全国選抜大会出場を決めた。男子の部には各都道府県から選ばれた60人が出場し、

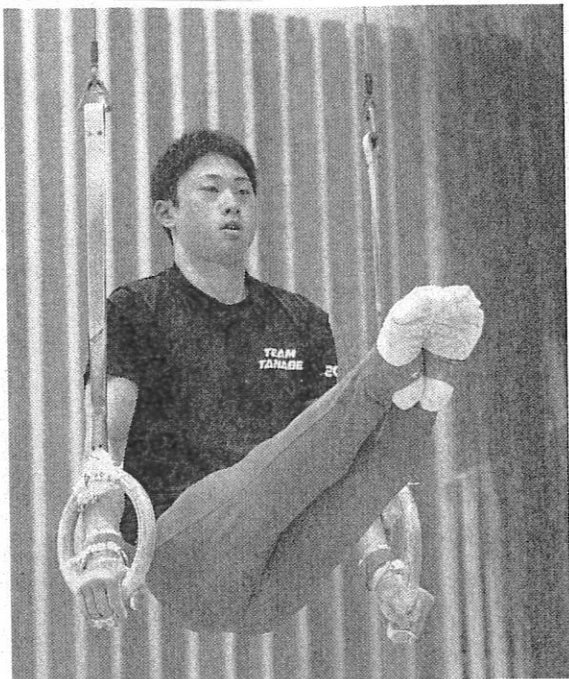
ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目の点数を競う。

田辺工業の選手が選抜大会に出場するのは5年連続。同校体育館では今岡君だけでなく他の体操部員も6種目を順番に演技するなどして、演技の待ち時間を含めた本番を想定しトレーニングをしている。

今岡君の得意種目は鉄棒、平行棒、あん馬。今

全国高校体操競技選抜大会に向けて練習に励む今岡一斗君

(田辺工業高校体育館で)



岡君は「自分の特長でもある技のきれいで点数を稼ぎ、個人総合や種目別で入賞したい」と抱負を語る。練習で協力してくれる仲間たちにも感謝しており「田辺の体操を勢いづける演技をしたい」という。

田辺工業体操部の新藤大知顧問(24)は「きれいな体操をする選手。練習で体力、技術で足りない点を強化し、1枚でも多く賞状を取ってほしい。4月から3年生になるので、チームを引っ張ってくれるような演技をしてほしい」と期待している。